

「稼ぐ力」の強化に向けた 「『Society 5.0』社会実装 モデルのあり方検討会」

事務局資料

2019/10/17

これまでの振り返り

官民連携データプラットフォームに関するこれまでの確認事項

大義・目的



- ✓ オープン志向で「都民QoLの向上」、「稼ぐ力の向上」、「ダイバーシティの実現」を目指す

運営主体



- ✓ 官民出資の事業会社による運営が望ましい

事業内容・方法



- ✓ 公共データ、公益事業データ、民間データ、オプトインを前提とした個人のデータを対象とする
- ✓ データ取引の仲介（エクスチェンジのハブ機能）などをメインに実施
- ✓ 特に初期において、DPFの呼び水となる公共データを一気に呵成に整備
- ✓ 都内中小企業・スタートアップ・起業家・NPO・大学等に対して、無償での提供を想定
- ✓ オプトイン、データポータビリティ等、「データ・オーナーシップ」の仕組みにより安心して利用してもらえる環境を整備
- ✓ マシンリーダブルな形式でAPIによる連携
- ✓ 個人情報保護法など、関連する法令に則り事業を実施

実施ステップ



- ✓ 令和2年度中にはスモールスタートを、令和3年度以降に本格稼働を目指す

議事 官民連携データプラットフォームについて

事業のイメージ

官民出資の事業会社設立に向け、順次組織形態を整備していく

▼令和2年度初

運営組織立上げ準備期

- データプラットフォームの運営組織立上げを準備する段階
- 任意の準備会

▼令和2年度中（サービスイン）

事業立上げ期

- データプラットフォームの構築や初期の業務開始までを行う段階
- 一般社団法人

▼令和3年度以降

本格稼働期

- データプラットフォームを活用して、本格的に収支均衡を目指す時期
- 官民出資の事業会社

まずは行政から、活用しやすいデータを出す

公共性の高い民間データに着手

幅広く民間と連携

行政データ

- 都自身が持つ各種行政データ
- 既存のデータカタログにて提供しているものよりも多くのデータを、使い勝手がよいデータ形式やインターフェースで提供

例：地下埋設物データ、税関係データ等

取り扱うデータ



公益事業系データ

- 民間データの中でも公共性が高いもの
- 比較的早期に民間事業者との連携を目指す



民間データ

- その他民間データ
- 随時データを拡大

備考

- 都が積極的にデータを提供し、カタログサイトを充実させる
- コアとなるデータを活用して、都が実証実験に取り組む

- 運営組織立上げ準備期の取組を踏まえて、事業をスモールスタート

- トライアンドエラーを続け、収支均衡を目指す

官民連携データプラットフォームに関する課題認識

課題認識

- ① 運営組織の立上げを円滑に推進していくためには、どうしたらよいか
 - まずは、様々な組織・国と連携しながら、交通やバリアフリーなどのサービス分野ごとに具体的な対話の場を作り、コミュニティ化を推進すべきではないか
 - その対話の中で、具体的なユースケースを議論すべきではないか
 - サービス分野ごとの将来像（明確なビジョン）を提示すべきではないか
 - 全ての取組をオープンに行うべきではないか
- ② 民間に参加してもらうには、どうしたらよいか
- ③ 収支均衡を目指して、ノウハウの蓄積に取組み、将来的には人材育成機能とコンサル機能を実装していくべきではないか
- ④ 立上げ期には特にNPO、大学、スタートアップ等に着目し、段階的に顧客層を拡大すべきではないか

その他

MaaS実証事業 モデル事業概要①

① 多摩地区の交通結節点である立川駅周辺エリアの「お出かけ」をサポート

[実施主体]

小田急電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、
株式会社ヴァル研究所、多摩都市モノレール株式会社、
立川バス株式会社

[対象地域]

立川駅周辺エリア

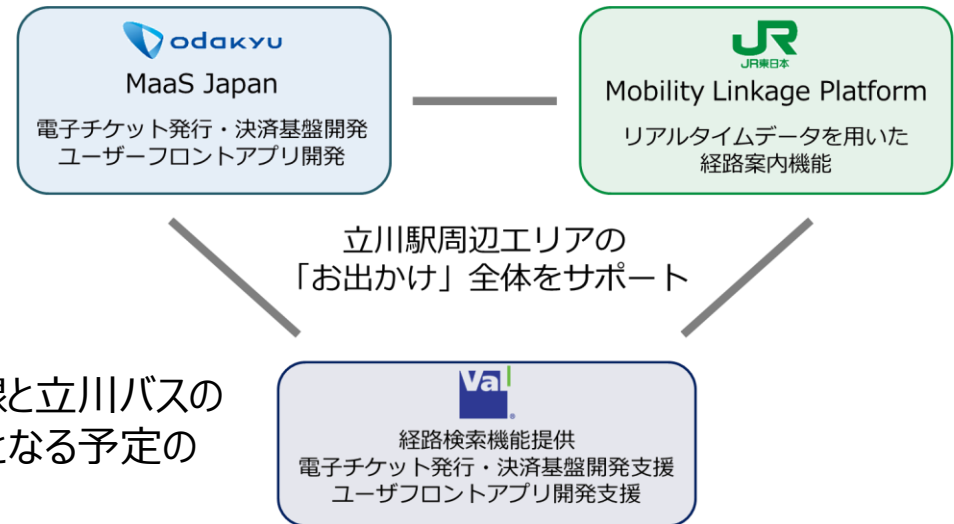
[実施時期]

令和2年1月～令和2年2月を予定

[実施内容]

- JR東日本の中央線(東京～甲府間)および南武線と立川バスのリアルタイム運行データを同時に用いた日本初となる予定の経路案内の提供
- 多摩モノレールの1日乗車券と多摩動物公園の入場券等がセットになった電子チケットを1つのアプリで提供

⇒ 公共交通の利用促進や商業・観光施設の来訪者の利便性を向上



その他

MaaS実証事業 モデル事業概要②

② 竹芝エリアにおいてマルチモーダルサービスを提供

[実施主体]

MONET Technologies株式会社、鹿島建設株式会社、一般社団法人竹芝エリアマネジメント、株式会社電通、東海汽船株式会社、東急不動産株式会社、東日本旅客鉄道株式会社

[対象地域]

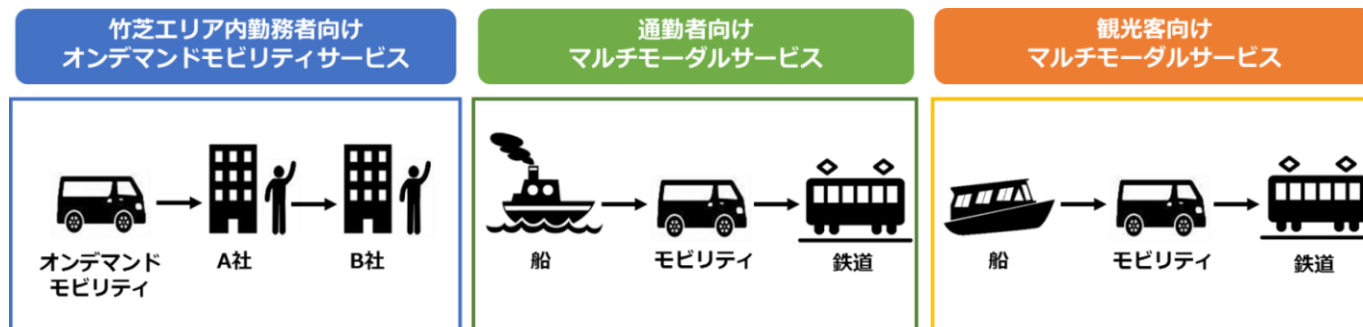
竹芝エリア

[実施時期]

令和元年12月下旬～令和2年1月上旬を予定

[実施内容]

- 竹芝エリア内の勤務者に向け、アプリから配車の予約ができ、周辺の駅やオフィスなどを巡回するオンデマンドモビリティサービスを新たに導入
 - 通勤者・観光客向けに、竹芝棧橋と浜松町駅などの間を移動するためのモビリティサービスを新たに導入し、船舶と鉄道と連携することで、マルチモーダルサービスを推進
- ⇒ 竹芝エリアを訪れるビジネスパーソンや観光客に向けた移動手段を充実



その他

MaaS実証事業 モデル事業概要③

③ 東京臨海副都心エリア専用のMaaSアプリによる回遊性の向上

【実施主体】

株式会社ナビタイムジャパン、株式会社ドコモ・バイクシェア、JapanTaxi株式会社、東京臨海高速鉄道株式会社、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、KDDI株式会社

【対象地域】

東京臨海副都心エリア

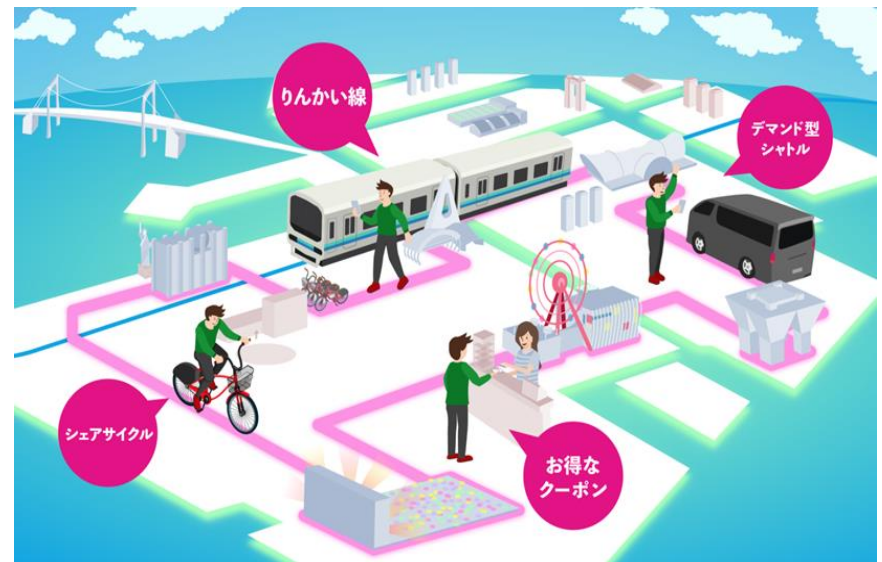
【実施時期】

令和2年1月中旬～令和2年2月中旬を予定

【実施内容】

- 徒歩・鉄道・バスなど複数の交通手段を組み合わせたルート検索に加え、新たに導入するデマンド型シャトルの予約、りんかい線及びシェアサイクルのキャッシュレス決済をワンストップで実現し、シームレスな移動を提供
- おすすめ観光スポット等の記事や観光施設情報、クーポンの提供によるエリアの新たな魅力を多言語で発信

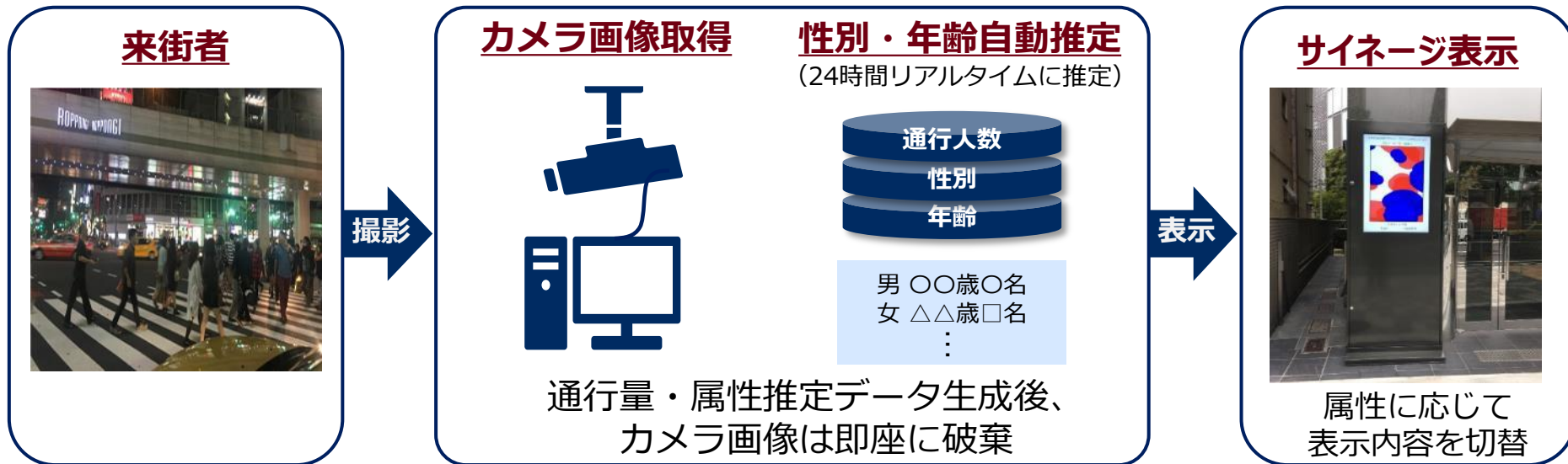
⇒ スマートフォン1つで、国内外の観光客のエリア内のスムーズな移動と、回遊性を向上



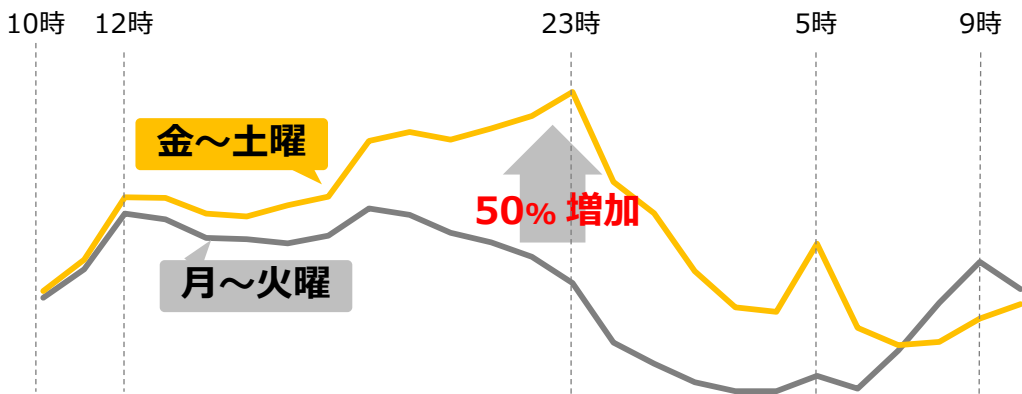
その他

カメラ画像解析による歩行者量調査事例（六本木商店街振興組合の取組）

感覚的に捉えていた来街者の通行量や属性を数値として客観的に見ることが可能。
関係者との調整の場における説得力のある根拠データとして活用。

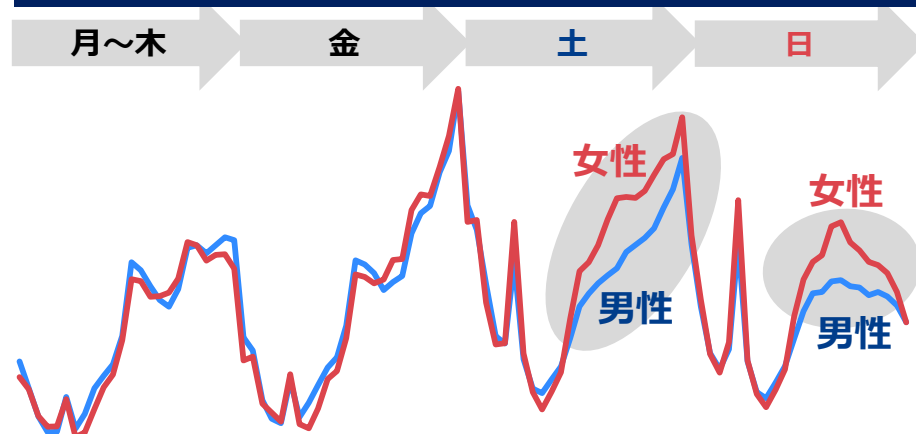


月曜日と金曜日の通行量比較



金曜日の通行量は、月曜日の150%

1週間の男女別 平均通行量



土日は日中、女性が男性より最大40%多い

事務連絡 スケジュール

